

今回は  
先端医療や  
森づくりの話題が  
あるよ!



ピザ焼き体験会では、子どもたちも竹で自分の皿や箸を作る



森も楽しい遊び場に。自然とふれあい、自分で遊び方を考えたり、自然との関わり方を学んだりできる



氷見は竹林が多い。その竹をひたすら焼いて炭づくり。いろんな活用方法がある



森の木を伐採、製材して建てたサウナ小屋。県外からも多数参加し、大人も子どもも雪の森で熱いひとときを楽しんだ

魅力いっぱい Vol.7  
元気力とやま

氷見のたから探し研究所のメンバー。荒木真人さん(左)は富山市出身。三重県の観光農園勤務などを経て氷見に移住。佐藤文敬さん(中央)は宮崎県出身。埼玉県の大学卒業後、サラリーマンなどを経て東日本大震災の支援スタッフを経験し、氷見に移住。笹倉奈津美さん(右)は茨城県出身。ご主人が氷見市役所勤務となり共に移住。

地域の「たから」を見つけ、  
魅力を情報発信していきたい

氷見のたから探し研究所(氷見市)

氷見のたから探し研究所は、氷見市に移住してきたメンバーが運営し、「地域を知る」「地域で仕事をつくる」ことを目的に活動しているグループです。

メンバーの佐藤文敬さんは「地元にあるたからを探し出し、みんなと共有して楽しんだり小さな仕事にしていこうと、地域の課題を解決し、生計を成り立たせていく暮らしの実験のようなものですね」と話します。

昨年4月からスタートした活動ですが、これまで親子で森の自然とふれあうイベントや、「竹炭づくり」、「柿渋づくり」など、主に地元の人が参加する多彩なイベントを企画してきました。里山で自前の窯を作り、地元の食材をトッピングしたピザ焼き体験会も定期的に行っています。また、森から切り出した木材でフィンランド式サウナを建てたことも。「氷見は森が豊かで竹林も多い。その素晴らしさに気づいてもらえれば」と佐藤さん。「昔の茶畑を借りて、お茶を手づくりできるのも氷見の魅力ですね」と荒木真人さんは教えてくれ、地域資源を活かして仕事をつくる研究もしているそうです。

「企画の立て方や情報発信の仕方を大切にしています」と話すのは、東京で6年間企業のマーケティングやWEBサイトの開発に携わった笹倉奈津美さん。工夫しだいで人を呼び込むことは可能だと言いつつ、実際に、サウナのイベントには県外からもたくさんの方が参加があったそうです。

田舎には田舎の面白さがあり、それを楽しむのは人しだい。氷見で生活を始めたメンバーはそろってそんな実感を口にします。自分たちの体験やイベントを通じて「氷見のたから」を情報発信し、魅力を広げていきたいと考えています。

氷見のたから探し研究所

<http://mitsuken.strikingly.com/>

県政 Q & A

県政に関する質問に  
知事が答えます!

Q 県では、県外からの移住促進にどのような取り組みを行っているのかお聞かせください。

A 人口減少が進むなか、地域の未来を担う人材を確保するためにも、県外からの移住促進に取り組むことが重要です。

このため、県では、東京・有楽町に「富山くらし・しごと支援センター」を設け、移住を希望される方々の仕事や住まいについての相談に応じているほか、新たな首都圏情報発信拠点「日本橋とやま館」とも連携し、移住に関する情報発信に取り組んでいます。また、移住を希望される方々の受入れに意欲的な地域をモデル地域(5地域)に指定し、宿泊体験・交流施設の整備を市町村と連携して支援するなど受入体制の整備にも力を入れています。

こうした取り組みもあり、県や市町村の相談窓口を通して移住された方々は、20代・30代を中心に年々増加し、昨年度は過去最高の462人となり、平成20年度から27年度までの8年間で2500人を超えています。県では、今後とも、市町村や地域の方々とも連携し、移住促進に積極的に取り組んでまいります。



目安箱

皆様のご意見をお待ちしています。「元気とやま目安箱(知事への意見・提言)」係まで

●はがき・手紙:〒930-8501 県庁広報課 ●FAX:076-444-3478 ●インターネット:<http://www.pref.toyama.jp/tiji-form.html>

この件のお問合せは

県地方創生推進室 地域振興課 TEL.076-444-4496  
[http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1400/index.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1400/index.html)



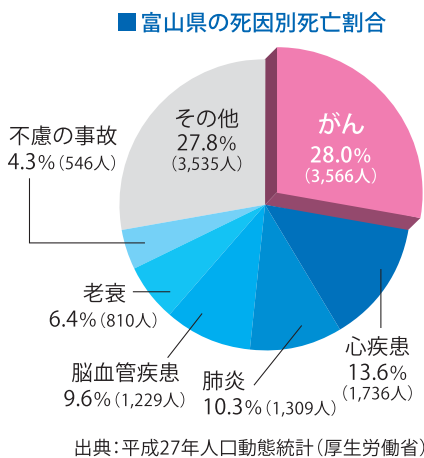
～全国トップレベルの医療の提供を目指して～

# 富山県立中央病院 「先端医療棟」竣工

9月4日、「先端医療棟」が竣工しました。最新鋭の医療機器や手術室を整備し、国内最高水準の医療の提供に努めてまいります。



現在、県立中央病院は、県内唯一の国指定の「県がん診療連携拠点病院」として、県内のがん診療連携拠点病院等との連携協力のもとと本県のがん医療の向上に中心的な役割を担っています。



「がん」は、一生のうち、日本人の2人に1人が患うとされています。また、本県における死因の第1位が「がん」であることから、質の高いがん医療を提供することが、今後ますます大切になります。

## 国内最高水準の総合的ながん医療

県立中央病院は、昭和26年の開院以来、質の高い医療の提供に努め、本県の医療水準の向上に大きな役割を果たしてきました。このたび、県民の皆さんに国内最高水準・最先端の総合的ながん医療と救命救急医療を提供するとともに、大規模災害発生時等の緊急時医療体制を充実強化するため、先端医療棟を建設しました。

## 「先端医療棟」竣工

先端医療棟の完成により、最新鋭の検査や治療ができる機器が導入され、がんの早期発見・治療が期待できるほか、先進的な「ロボット手術」など、患者さんの身体への負担が少ない手術が可能となりました。

## 高度救急医療体制の充実強化

県立中央病院は、3次救急医療を担う救命救急センターとして、また、ドクターヘリ基地病院として、365日・24時間体制で患者さんを受け入れ、本県の救急医療の「最後の砦」としての役割を担っています。

## 全国トップレベルの医療を提供

また、東日本大震災を教訓に、緊急時においても県の基幹災害拠点病院として医療機能を維持するため、高度集中治療センターに大規模災害時や新型インフルエンザ等のパンデミック期に対応する緊急対応病室も設置しました。



救急患者を搬送するドクターヘリ

先端医療棟には、公立病院では北陸初となる特定集中治療室

病気の診断や治療方法は日々進化しています。県では、今後とも全国トップレベルの医療の提供

### 先端医療棟 各階の紹介

4F



ハイブリッド手術室

#### 低侵襲(ていしんしゅう)手術センター

- 患者さんへの身体的負担の少ない先進的な低侵襲手術を実施
- ロボット手術：術部を30倍まで拡大し、540度回転の可動域をもつロボットアームにより、人間よりも繊細で安全な手術が可能
- ハイブリッド手術：3次元画像で外科手術と内科的治療を同時に実施

3F



特定集中治療室(スーパーICU)

#### 高度集中治療センター

- 高度な生命維持装置を備えた特定集中治療室(スーパーICU：6床)と、救急患者さんを収容する救命救急治療室(ECU：10床)で、強力かつ集中的に治療・看護を実施
- 大規模災害時等に対応する緊急対応病室を設置

2F



内視鏡室

#### 内視鏡センター

- 高性能な消化器内視鏡機器を導入し、食道・胃・大腸などの早期がんをより高い精度で診断するとともに、内視鏡の粘膜下層剥離術(ESD)など最新の内視鏡治療を実施
- 気管支専用の内視鏡室も新設し、最新鋭の機器を導入

1F



最新のCT

#### 高度画像診断センター

- 最新鋭のMRIやCTなどの検査機器を導入し、がんなどの診断精度の飛躍的な向上による早期発見・治療の実現が期待されます。
- MRI：最新3テスラで従来比2倍の高画質・高精細な画像を撮影
- CT：最新機器(384スライス)で従来比1/30の時間で撮影可能

### Interview

#### 「先端医療棟」竣工に寄せて 院長 野田 八嗣



待望の先端医療棟が竣工いたしました。同時に、中央病院に対する県民の皆様の期待がさらに高まることをひしひしと感じており、我々病院スタッフ一同、大変身が引き締まる思いです。先端医療棟の稼働により、がん医療や救命救急医療などにおいて、国内最高水準の医療の提供が可能となります。また、今後は中央診療棟を改修して、地域連携室に入退院センターを併設するとともに、通院治療室、緩和ケアセンター等を拡充する予定です。これらの施設のリニューアルにより、医療の質の更なる向上と地域医療連携の強化を図ってまいります。今後も引き続き、地域の医療機関等とも連携を図りながら、入院期間の短縮や早期の職場・社会復帰ができるよう、病院スタッフ一丸となって県民の皆様の期待に応えられるよう努力してまいります。

に取り組みとともに、県民の皆さんがそれぞれに最適な医療を安心して受けられるよう努めてまいります。

やさしさ・信頼・安心  
富山県立中央病院

〒930-8550  
富山県富山市西長江2丁目2番78号





# 県民参加の森づくり

県では、豊かで美しい「とやまの森」を守り育て、次代に引き継ぐために、県民参加の森づくりを進めてきました。来年5月に本県で開催する「第68回全国植樹祭」を契機として、一層の推進が期待されます。

## これまでの森づくりの取り組み

森林は、多様な生物の住みかであり、洪水や山崩れ等の災害から県民の暮らしを守るとともに、豊富な水資源が豊かな土地や海を育むなど、県民の生活と産業を支えています。

県では、この豊かなとやまの森を県民全体で守り育てるため、森づくりの理念や、森づくりの施策の財源とする「水と緑の森づくり税」の導入を盛り込んだ「富山県森づくり条例」を平成18年に制定しました。そして、この条例に基づき策定した「富山県森づくりプラン」に沿って、里山林の整備や毎年1万人以上の方々による森づくり活動の実施など、県民参加の森づくりを着実に進めてきました。

## 「水と緑の森づくり税」の延長

県では、条例で課税期間が平成28年度末までとされている「水と緑の森づくり税」の延長について、

## 富山県森づくりプラン

(計画期間:平成29年度～平成38年度)  
実施する予定の主な事業を紹介します

### 多様な森づくりの推進

#### ● 里山林の整備 ●

整備目標:2,000ha



野生動物との棲み分けなどを目的とし、里山林の整備に県民協働で取り組むとともに、海岸林での松くい虫被害対策を実施

#### ● 混交林の整備 ●

整備目標:500ha



山崩れの防止や水資源確保などの人工林の機能向上のため、スギと、コナラなどの広葉樹が混在する森林へ誘導するための整備を実施

#### ● 「立山 森の輝き」の植栽 ●

目標植栽面積:460ha(92万本)



花粉症対策にもなる、県が開発した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の苗木を生産し、スギ人工林の伐採跡地に植栽

### 森を支える人づくりの推進

#### ● 森林ボランティア活動への支援 ●

目標年間参加延べ人数:13,000人



機材の貸出しや安全講習などの森林ボランティアの活動支援と、「森づくりサポーター」養成による里山林整備の支援を実施

#### ● 森づくりへの理解を醸成 ●



県民が森に親しむ場である「とやま森林浴の森」で、児童・生徒や一般県民を対象に、森の大切さを学ぶ「森の寺小屋」を開催

### 森林資源の循環利用の推進

#### ● 県産材利用の促進 ●



公共施設等の内装木質化等や、県産材道具の導入を支援するとともに、木を身近に使うことにより豊かな心を育む「木育」を推進する人材を養成

昨年、県民アンケート調査をしたところ、条件付きを含め95%以上の方に賛成をいただきました。

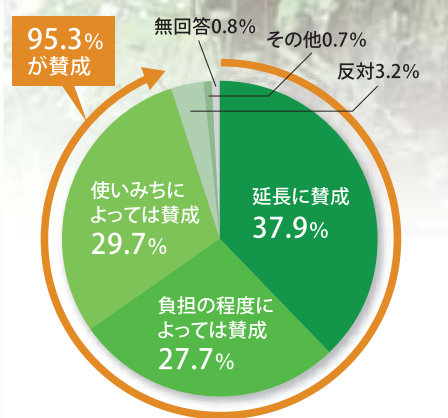
この結果や県民の皆さまのご意見を踏まえ、「水と緑の森づくり税」を平成33年度まで延長するとともに、新たな「富山県森づくりプラン」

## 第68回全国植樹祭の開催

を今年9月に策定し、引き続き積極的な森づくりに取り組みます。

来年5月に本県で開催する全国植樹祭は、豊かな国土を支える森林や緑に対する理解を深めるために行われる、国土緑化運動の中心の行事です。県内外から約6千人が

参加予定のこの大会を通じて、本県の森づくりの取り組みを全国へ発信するとともに、県民参加の森づくりを一層推進します。



第68回 **全国植樹祭** とやま 2017

かがやいて 水・空・緑のハーモニー

**開催日** 平成29年5月28日(日) **式典会場** 魚津桃山運動公園

**内容** 式典行事(お手植え・お手播き等)、参加者による記念植樹

式典観覧と記念植樹の

- 募集人数: 800名(応募多数の場合は抽選)
- 募集締切: 平成28年11月20日(日)
- 応募方法: 大会ホームページからの電子申請専用応募用紙による申込み
- 応募資格: 大会ホームページでご確認ください。

**参加者募集**

◎お問合せ TEL.076-444-4578 大会ホームページ <http://www.68syokujusai-toyama.jp/>

●この件のお問合せは 県森林政策課 TEL.076-444-3384 [http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1603/index.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1603/index.html)

## とやま 未来の星

### プロの女流棋士をめざす

野原未蘭さんは、8月に行われた全国中学生選抜将棋選手権女子の部で準優勝、中学生女子名人戦全国大会では見事に優勝の栄誉を勝ち取りました。野原さんが将棋を始めたのは幼稚園年長の頃。小学1年生で初めて大会に出場して以来、研鑽を重ね実力を付けてきました。今回の優勝でプロになる夢がより明確になったといいます。「まだまだたくさん対局を経験し、どんな局面でも自分らしい将棋を指せるように」と、意欲を新たにしています。



将棋の中学女子名人に輝く野原未蘭さん(岩瀬中学校1年)  
将棋の楽しさは「全国トップレベルの同年代と友達になれるから」とも話す野原さん。

## 元気 いっぱい! とやま にぎやかファミリー

県民みんなでお祝いしよう! 第4子以上のお子さんが生まれたご家庭を紹介!



後藤さんご一家(高岡市)

パパ:寿麻さん、ママ:見和子さん  
長男:楽人くん、長女:ななみさん、次女:かれんさん、次男:獅虎くん



久我口さんご一家(魚津市)

パパ:学さん、ママ:秀美さん、長女:夏柚さん  
次女:葉柚さん、長男:叶くん、次男:尊くん

7/7に男の子が仲間入りしました。  
日々、子どもたちに振り回される毎日です(笑)

毎日遊びに喧嘩、  
笑って泣いて楽しい日々を送っています。





## 県内おでかけ情報

料金の( )内は20名以上の団体料金



### 県立近代美術館

藤城清治

光よるこびメルヘン展

期間 開催中～11月13日(日)まで

料金 一般1,400円(1,200円)、大学生1,000円(800円)、小中高生無料

時間 9:30～18:00(入館は17:30まで)

日本を代表する影絵作家、藤城清治氏(1924年東京生まれ)の独自の芸術世界を紹介する展覧会。世界でも類を見ない影絵の手法によりファンタジーや童話の世界を描き出してきた作品を、「影絵の劇場」をイメージして工夫を凝らした展示構成により、物語性豊かに紹介します。



◎富山市西中野町1-16-12 TEL:076-421-7111

### 県水墨美術館

巨匠が描く 近代日本画名品展  
ウッドワン美術館所蔵名作選

期間 10月7日(金)～11月20日(日)まで

料金 一般900円(700円)、大学生650円(500円)、小中高生無料

時間 9:30～18:00(入室は17:30まで)

平成8年に広島県に開館したウッドワン美術館。本展では、竹内栖鳳、横山大観から安田靉彦、速水御舟、平山郁夫など、近代以降の日本画壇を彩った巨匠から現代の作家まで、同館所蔵作品から数々の優品を展示し、その豊かで秀麗な世界を紹介します。



川合玉堂 <<冬嶺孤鹿>> 明治31年

◎富山市五福777 TEL:076-431-3719

### 県立山カルデラ砂防博物館

特別展

「世界遺産の中の土木」

期間 開催中～10月30日(日)まで

料金 特別展の観覧は無料

時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

富山県では立山砂防の世界文化遺産登録を目指しています。土木に関する世界遺産に焦点をあてた展示を行います。



◎立山町岩峠寺字ブナ坂68 TEL:076-481-1160

### 県中央植物園

オックスフォード大学交流記念展  
「英国の園芸文化と植物園」

期間 開催中～10月19日(水)まで

料金 一般500円(400円)、小中高生と70歳以上無料

時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)

英国で描かれた世界最古の植物学雑誌「カーティスのボタニカルマガジン」の全巻を本邦初公開するほか、30種以上のイングリッシュローズや英国式アレンジメントフラワーの展示など、イギリスの園芸文化に触れることができます。



◎富山市婦中町上轡田42 TEL:076-466-4187

## 県政の動き

最近の動き

今後の予定

- 8月 19 ノーベル化学賞受賞者田中耕一先生とともに 薬都の未来を語る会
- 27 県総合防災訓練(砺波市、小矢部市、南砺市)
- 9月 3 とやま国際工芸シンポジウム
- 9 県議会定例会(～28日)
- 12 富山県民栄誉賞贈呈式(田知本遥選手、登坂絵莉選手)
- 17 とやまの森づくりフェスタ(県民公園太閤山ランド)
- 22 オックスフォード大学交流記念展(～10月19日 県中央植物園)

- 10月 8 富山県美術館PRイベント「ART PICNIC!」(～9日 富岩運河環水公園ほか)
- 15 とやま環境フェア2016(～16日 高岡テクノドーム)
- 29 越中とやま食の王国フェスタ2016～秋の陣～(～30日 テクノホール)
- 30 富山マラソン2016
- 11月 16 Uターン女子応援カフェ(東京)(19日京都、20日名古屋)
- 19 美の祭典 越中アートフェスタ2016(～23日 県民会館)

### TOPICS 1 火の用心 あなたが家族の消防士 (平成28年度全国統一防火標語佳作作品)

県内では、今年1月から8月までに141件の火災が発生し、昨年度と同じ時期に比べ増加しています。

- ☑ **コンロのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう。**
- ☑ **寝たばこは絶対にやめましょう。**
- ☑ **風の強いときや空気の乾燥しているときは、たき火をやめましょう。**

火の用心



### TOPICS 2 「富山マラソン2016」ノーマイカーデーの協力依頼

「富山マラソン2016」が開催される10月30日は、交通規制の影響による交通渋滞が予想されます。お出かけには自動車の使用を控え、できるだけ公共交通機関をご利用くださるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◎問合せ先…富山マラソン実行委員会事務局(県知事政策局富山マラソン推進班)  
TEL:076-444-4102



### TOPICS 3 独身男女の出会いをサポート! とやまマリッジサポートセンターのご案内

県では、結婚支援事業を総合的に実施する「とやまマリッジサポートセンター」を開設しています。センターでは、会員制の個別マッチングや、スキルアップセミナーなど、結婚を希望される方々へのサポートを行っています。お気軽にお問い合わせください。

◎問合せ先…とやまマリッジサポートセンター TEL:076-471-6510

とやまマリッジサポートセンター 検索



## 県政クイズ

○の中に言葉を入れてください。(ヒントは「特集1」にあります。)

全国トップレベルの医療の提供を目指して、  
富山県立中央病院に「〇〇医療棟」を建設しました。

正解者の中から10名の方に、

焼き菓子セット(フィナンシェ5個、おからクッキー3袋)をプレゼントします。

(社会福祉法人 富山県精神保健福祉協会 ゆりの木の里)

はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。※ご記入いただいた個人情報は、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。

宛先/〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま10月号クイズ係」 ●締切10月19日(水)必着



県広報とやま  
次回発行日は  
1月8日だよ!



◆県広報とやまに関するご連絡、ご質問はこちら

〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課あて

TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478

E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください

<http://www.pref.toyama.jp/form.html>

「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。県の各施設や市役所・町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、広報課のホームページで閲覧できます。

●広報課ホームページ[http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1118/](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1118/)

平成28年10月2日発行 企画・発行 富山県経営管理部広報課(富山市新総曲輪1番7号) 編集協力(株)チューエツ

※「県広報とやま」は環境に配慮し、植物性大豆油インキと再生紙を使用しています。※下記の広告の内容に関する一切の責任は

広告主に帰属します。なお、広告の掲載については、(株)ホープ(TEL.092-716-1404)までお問い合わせください。

## 元気レシピ 黒枝豆のかき揚げ

1人分/約410kcal



射水市特産の黒大豆枝豆「たんくろう」を使いました。塩分は下味の塩麴のみですが、しょうがの風味にレモンの酸味も加わり、しっかりとした味わいです。かき揚げの野菜はお好みで代用してください。

【材料・分量(4人分)】

黒大豆枝豆…180g、にんじん…80g、ごぼう…80g、玉ねぎ…60g、鶏肉…120g、塩麴…20g、卵…1個、しょうが…40g、薄力粉…40g、揚げ油…適宜、レモン…1/2個、付け合せ用生野菜…適宜

\*作り方\* ①鶏肉をさいの目に切り、塩麴に30分ほど漬込む。②黒大豆枝豆をやや固めに茹でる。③にんじん、ごぼう、玉ねぎをさいの目に切る。しょうがはすりおろす。④①、②、③をボウルに入れ、溶き卵と薄力粉を振り入れて混ぜる。⑤揚げ油を170度に熱し、大きめのスプーンなどを使い、丸く形を整えながら揚げる。⑥器に生野菜と共に盛りつけ、レモンを添える。 <協力>射水市食生活改善推進協議会

アプリ「マチイロ」

スマートフォンやタブレットで広報紙を閲覧できる無料アプリ(広報紙から名称変更)ぜひご利用ください。

